

風光



東海地本二十五周年の節目は歴史を学び、未来につなげる年に



新年あけましておめでとうございませう。昨年9月から執行委員長に就任し、4ヶ月が経ちました。大会の時に「大好きな仲間・家族・そしてこの仕事を守りたい！」と宣言しましたが、厳しい現状にどのように立ち向かっていけばいいのか、日々悩みながら活動をしている毎日です。しかし、そんな中でも踏ん張って前に進み続けたいと思えるのは、仲間の存在が大きいものであるからだと思います。

12月に執行委員で毎年恒例の合宿を行いました。主は15春闘方針の議案討議ですが、その他にも執行委員という役割を通して今感じていること(悩みも含む)をみんなで交流しながら、みんなの人となりを知ろうというところも行いました。若い執行員からは「現場の大変さもあるけど、大事な役割として担えることはみんなから認められてるからできるんだ」と誇りを感じ

たり「いろんなことを学べる」とが新鮮だ」という話があったり、前向きな言葉に力を分けてもらいました。自分自身も執行委員長という役割を担う中で重圧に押しつぶされそうになりましたが、そんなことを素直に話せ、みんなの悩みも聞きながら共に頑張っているということを感じました。想いを分かち合う仲間の存在を知って、何より力強く感じる事ができました。

昨年は新しい分会結成もあり、多くの仲間を増やした年でもありました。困っている職場があれば、地本だけでなく地域支部が一緒になって関わる中で、現場の状況交流や身近なところを支えになる存在がいることを感じてもらうことができ、私たちが地域における福祉労働者の拠り所として大きな存在になれたと思います。

各職場でも世代交代の波が来ている中で、地域で支え、助け合う場があることはこれから共に運動していく中で大切なことだと思います。同じ仕事で働く仲間たちが、一人で悩んで苦しまないように、これまで大切にしてきたことをより一層強めていければと思います。

第22回地本委員会

日時：2015年1月24日13：30～17：30
場所：労働会館東館2Fホール

みんなで討議を深め、統一要求を確立し、力強く春闘に向かっていきましょう！
議案の読み合わせと委員証を忘れずに！
9：30からの「15春闘大学習会「労働関係法に係わる説明会」にもご参加を！

執行委員長 寺坂 渉

「風の音」
今年もびつくりするほどの寒波到来。名古屋でも例年になくぐらに積もりました。朝起きるとベッドの中でSNSを見ると雪・雪・雪!!まさかと思いつつもカーテンを開けると一面真っ白!!準備を済ませて、今日は子ども達と遊ぼうと雪用のグローブを持って出かけました。

足首まで埋もれてしまうほどのふわふわの雪に顔がにやけてきます。誰も踏んでない雪面を歩くときぎゅぎゅと気が持たない音。気合をいれて車の雪かきをしようとして、またびつくり。いつもの重いつつしりつた雪ではなく、これまたふわふわのパウダースノーでさらに顔がにやけます。木も屋根も道もなにもかも雪で真っ白。ぎゅぎゅと雪を鳴らしながら見る風景はすごくきれいで、いつもの風景とは全く違うものに見えました。

出勤すると「ゆきだよ」と興奮気味の子ども達。みんな窓の外を見て目を輝かせていました。子ども達と一緒にすぐには外へ出て、雪を集めて遊びました。「ゆきだるま作ろう!」と誘うと「ゆきだるまつくろ!だね」とアナと雪の女王の中の曲を歌ってくれる子も。

子ども達は頭から雪をかぶっていたり、丸めた雪を大事そうにさらに丸めていたり、バケツに集めた雪を何人かでひっくり返して潰して笑い合っていたり、寒さに負けず楽しんでいました。その後も「ゆきだのしかたね!」と笑顔の子ども達を見てはなんだかうれしくなりました。でも、たぶん自分が一番楽しかったな。あ、楽しかった!!

JUEU

2月2日に愛知県知事選挙が行われます。この選挙に、「革新県政の会」より小松たみこさんが出馬します。

私たちが労働組合は要求でつながらる組織であり、組合員の思想信条の自由を守るため、選挙の際に特定の政党候補者を支持し、組合員にそれを強要することはありません。しかし、革新県政の会とは労働組合だけでなく市民団体や政党も含めた多くの団体が県政に対する要求を持ちより、その実現を目指して運動を進めていく組織です。福保労も加盟しており、私たちの持ちこんだ福祉保育施策向上の要求が、革新県政の会の政策案

小松たみこさんの目指す愛知県政とは？

―最初に今の大村県政についてどう考えますか？

愛知県は優良企業が多く、財政は全国トップクラスで環境的にも恵まれたところ。しかし県民生活直結する民生・衛生・教育費等は全47都道府県中、43位です。県民への視点が薄く、県民の暮らしが後方に追いやられており、財政の県民生活に対する支出のバランスが悪すぎます。私は、県民のみなさんが希望の持てる愛知県にする事をお約束します。

につながっています。

また、小松たみこさん自身、福保労も連携し運動を進めている愛知県社会保険推進協議会の事務局長を務めている方です。

私たちは県交渉などさまざまな運動に取り組んでいます。前進的な回答を得ることは難しいのが現状です。しかし私たちの掲げる要求を共に掲げる候補者を県知事に押し上げることができれば、県政を変えることができます。そのために東海地本では、小松さんの推薦支持決議を上げました。

多くの組合員に小松さんの政策や考えを知ってもらうために、インタビューを行いました。

―具体的な中身を教えてください

「地域で安心して暮らせる愛知」に私の掲げる4つの約束の一つです。

私は愛知社保協の事務局長として、一昨年みなさんと共に福祉医療制度を県に守らせました。これからもこの制度を守り、18歳まで拡充します。子どもの貧困対策や新制度も大きな問題です。

県として給食費の無料化を進めたり、保育所などの施設の面積や人員配置

を引き上げたいと思います。

また介護保険も自助自立を基本として、軽度の要介護者が切りすてられようとしています。介護保険が目的とした「介護の社会化」にも逆行しています。介護保険の維持には国がきちんと公費を投入することが必要で、国に申し入れ、県でも財政補助を検討していきたいと思っています。

障害者の65歳からの介護保険優先問題もおかしいと考えています。介護保険への強制的な移行は乱暴といえます。原則は応能負担です。こんな事ばかりしていて、国民をばかにするなど言いたい。障害者施策が大村県政のもとで進んだのではないかと

という声もありですが、障害当事者や関係者みなさんの運動がここまで積み上げてきたものであり、課題は山積みです。当事者の皆さんから切実なご意見をいただいて、県政に生かしたいと思えます。

障害児療育について、愛知県には青い鳥学園やコロニーなどありますが早期発見・療育、支援が必要で。子どもたちの豊かな発達を保障するために、バラバラではなく、トータル的な支援の場を作りたいと考えています。

―その他の約束も教えてください

2つ目は「女性が元気に活躍できる愛知に」3つ目は「青年が将来に希望をもてる愛知に」そして最後は「平和憲法が生きる愛知に」です。

私が県知事となれば、愛知県で初の女性首長になります。その女性の視点からの県政を作ります。女性が輝けるように。先ほども出ましたが18歳までの子どもさんの医療費を無料にし、保育所・学童の増設など、子育て世代の応援に取り組みます。若者の支援も重要です。今、奨学金制度が問題になってい

ます。社会の入り口で多額の借金を背負っている若者がいる。そこを公的に支援していくことが必要です。そして、その若者達が働いて、自立していくためには今の最低賃金では低すぎます。正規雇用が当たり前の愛知県にしていく。ブラック企業などは会社名を公開するなどして県としてできることに取り組んでいきたい。公契約条例を活用すれば自治体が労働者を守ることが

すぐにもできるようにします。そして何より平和が大事です。憲法の明文改憲や集団的自衛権の行使には、県としてNOを突き付けたい。愛知には軍需産業が集中している。集団的自衛権行使によって戦争に巻き込ま

れば、いつ標的にされるかわからない。平和の方向にシフトしていくよう県としても努力したい。

原発・核の問題。私自身NP-T再検討会議にも参加し、世界中の方々と交流してきました。被爆国日本から原発も含めた核廃絶を訴えていく意義がある。それを愛知県から発信していきます。

―最後に一言お願いします

まずは選挙に行ってください。その権利を行使していただきたい。女性が参政権を持って70年が経ちました。国民の要求で勝ち取ってきた選挙権ですが、先の衆議院の総選挙ではわずか52%の投票率に留まり、非常に残念です。私たちが望む政治をつくるために選挙があります。政治は変えることができます。私、小松たみこと一緒に県政を変えましょう。

一人ひとりがどういった視点で投票をするのか？県民の視点で考えている人は？平和を維持向上してくれる人は？そういったことを判断基準にして、よく考えて、投票をして下さい。

愛知県知事選挙は2月2日です。みんな、投票に行きましょう。



第21回高齢者福祉の職場に働く仲間との全国交流集会に参加して

14年11月22・23日横浜にて、福祉保育労の高齢職場で働く仲間が集まり、「介護の仕事が好きなだからアントキノキモチを大切に」をテーマに学習交流集会が行われました。

社会館分会 久納満喜

基調報告・今の介護を取り巻く情勢で自己責任化、切捨てが進み、ボランティアやNPOにサービスを担わせる国の政策の中で現実との矛盾がますます大きくなっていることや、実際に憲法25条を否定する介護の自己責任化が進められていることを学びました。

記念講演・「介護労働の意義

と働き甲斐をもう一度考えてみよう」というテーマで「生涯発達を支える介護・ヨコの発達・タテの発達」を学びました。

目的意識性や社会性という人間の特徴に働きかける。その達成感による自己肯定感、自己の存在感に働きかける。など、内容はとても難しく理解できないところもたくさんありましたが、方法論ではなく人間発達の視点から介護労働を評価してくださっていて、なかなか他の研修会等では聞くことのできない内容でした。

「法令遵守度チェック」「労働時間管理等について」、今の労基法をもっとよく知らない、

法律が守られてなくても気がついていないこともたくさんあるように感じました。自分たちが働きたい職業環境を作るためにも「労基法」をもっと勉強したいと感じました。

分科会・「介護分野でのチームケア」に参加しました。

在宅での介護を主にしている職場で集まり話し合いました。

どこも少ない数の正規職員がたくさんのパートさんと働いており、職員会議や打ち合わせもなかなかできなかったり、重要な連絡事項の情報の共有にも苦労している様子や工夫していくことを交流しあいました。地域にあるさまざまな施設間の交流がない中で、利用者さんの情報も利用する施設が変われば適切

「シリーズ・私のおすすめ」

かやの木分会 保母さん・佐藤さん

かやの木保育園分会です。かやの木保育園は岐阜県中津川市にある小さな町の保育園です。

私達の「おすすめ」は『中津川に遊びに来たら、是非!!』ということを紹介します。
・馬籠（まごめ）、妻籠（つまご）宿
ここにみえたら、是非!!こへいもちを食べみて下さい。美味しいですよ。

・恵那峡
春は新緑、秋は紅葉が絶景です。少し足をのばすと博石館があります。石好き!?!にはたまらない所です。

中津川といえば！栗きんとんはかせません。各和菓子屋さんを回るのもいいのですが、一度にいろいろなお店の和菓子屋をお求めになりたい方は…中津川駅前にある『にぎわいプラザ』に行ってみてください。中津川の有名な和菓子屋さんが集まっていますよ。
中津川市はのんびりした町です。癒やしにも最高です。ぜひ、私達の『おすすめ』の場所に遊びに来て下さい。



保母さん（左）と佐藤さん（右）の持っている「恵那川上」と「松葉」だそう。

れてしまっている、地域で連携していくことの課題も大きいと感じました。

まとめ・今回、全国の仲間と交流できたことで東海地本にももっと高齢職場で働く仲間のつながりがもちたいという思いを強くしました。現状の愚痴を言う合うことも大切ですが、介護の勉強や発達の学習をしながら自分たちの仕事の意味合いをもっともっと高めながら一緒にがんばってくれる仲間作りが課題だと感じました。

とても楽しくためになる集会に参加させていただいて感謝しています。

明石慶子

介護労働者の働きがいを見失ってしまっている中、記念講演の石田先生のお話を聞くことで謎が解けました。

働きがいの基本は労働目的をどのように主体的に立案しているかということ。自分で立案してこそ達成感が味わえる。利用者さんの身体がどれくらい動くようになったとか、役割を与えらるという事のみでなく、生きていく充実感、生きがい、自己肯定感、自己存在感、ヨコの発達（機能）、タテの発達（人権）に働きかける実践を側面から寄

り添いながら援助していく。いろいろな例の紹介がありました。そしてその目的意識性に働きかける時間の中に、今を生きる充実感が湧き起こる。労働者としての感性・人格を高め合う喜びを共有し、働く目的を共に分かち合う集団があることが必要と。ここに書ききれないが、ちょっと難しい先生のレジュメを読み返し、私はどうすればもっと働きがいを見いだせるのか解り、その為に職場の人や各職種の人と志を共有し、国へ働きかけることが必要なのだと改めて思いました。

夕食の交流会もクイズ形式を使って盛り上げていて、とても参考になり、元気をいただきました。組合に入っていて今回参加させていただき、本当にありがとございました。元気に長がとございました。元気に長く励まし合って働き続けられるように、もっと多くの人が組合に入ってこうした集会に参加した、大きな力になるといいなと思います。



明石さん（左）と久納さん（右）夜の交流会にて

年男年女にインタビュー～



今年はず（ひつじ）年ですが 年男年女のみなさんにはこんなこと聞いてみました

設問1 眠る時に「ヒツジが1匹、ヒツジが2匹」と数えると言いますが
あなたが心地よく眠るためにしていることは？

設問2 ヒツジの「ふわふわ」したイメージから、あったかい気持ちになる時はどんな時？

設問3 今年の抱負

こぐま分会



佐橋美咲（写真右）

設問①：普段特に何もしていないのですが、時間がある時はいつもより熱いお風呂に入って半身浴やマッサージをしています。

設問②：鍋物を食べている時です（笑）最近はいろんな種類の鍋を楽しんでいます。

設問③：貯金します！去年もあるとは自分で言っていました、今年こそ100万頑張ります。



坂本 真菜（写真左）

設問①：好きな音楽を寝る前に聞く

設問②：給食を作って、子どもたちが食器を返しに来てくれるとき「おいしかったよ！ごちそうさま！」って言ってもらった時

設問③：病気なく元気に過ごさ！

名東分会



小出 奈央子（写真右）

設問①腹巻をある

設問②子どもの成長をみた時

設問③あたたかい気持ちで子どもと向き合っていきたいです。

山口 由貴恵（写真左）

設問①くつ下を履く

設問②おいしいものを食べた時

設問③子どもたちが喜んでくれる献立づくりに励みます。

生田 千愛美（写真中央）

設問①温かくある

設問②子どもの笑顔を見た時

設問③明るく元気に毎日楽しく！

【編集後記】
初めて執行委員になり、会議の速さについていけず正直なところちんぷんかんぷんな日々です（笑）
そんな中、特別での幼稚園免許取得にむけて勉強中の毎日！！学生の時とは違い、書いてあることが体験としてあるので一味違っておもしろいなあーと思いがちです☆
ただ、勉強が苦手なのでやっぱり学生のうちに取っておきたかったなあ

と感じながらなかなか進まず…3月までに取得目指して頑張り中です☆
本当なら、今の制度のままいけるのが一番なのに…と感じている日々でもあります…
4月から保育制度が変わる予定ですが、自分も政治に関心を持って動向を見なければ！と改めて思っています。そんな中での県知事選、福祉職場を守る為にも興味・関心を持って選挙に行きましょう♪ T・H

年男年女インタビューに代えて年男・すずかけ分会 榎谷好信 私のおすすぬ

「でれすけ原発」〜東日本大震災3〜
地震や津波、そして原発事故によってまだまだ多くの人が苦しんでいます。大震災に遭遇しそこで暮らす人々の中に、「何も始まっていない」「もどに戻っていない」「何も終わっていない」という思いで詩をつくりそれに曲をつけて自分たちで歌い「でれすけ原発」〜東日本大震災3〜というCDをつくったグループがあります。「いわき雑魚塾」といいます。「現実を風化させたくない」「このCDは、ここで暮らす私たちの叫びだ」と訴えています。



榎谷さんの自画像です

打ちひしがれた人たちに元気を持って欲しい、歌で元気になってもらいたいと色んな歌手の方たちが現地に行きコンサートなど行いました。とても人間的だと思いますが、そこで暮らす人たちの現実や思いなどから学ぶことも大切だと思います。風化させてしまわないためにも、私も最初は義理で購入し、最近よく聞くようになりまし。とても素朴な声が流れてきて一味違うなと思いました。アーティストでこのCD発行に関わった鈴木幹夫さんという方が「いわき雑魚塾」の皆さんの歌について「とにかく下手だ」でも「愛すべき下手さだ」と評しています。私には、上手い下手はよく分かりませんが、こぼれをていねいに発して歌っているなと思います。そこが良いなと思います。だから私は、このCDをお奨めします。千円です。購入ご希望など連絡は「すずかけ分会・榎谷」までお願いします。